

国際先住民族の日記念事業
アイヌ民族の文化遺産と研究倫理
 ～ 先住民族から見る遺骨返還と人権 ～

2017年

8月5日(土)

開場 10:30 開会 11:00

会場 **かでの2.7ビル大会議室**
 (札幌市中央区北2条西7丁目)



国際連合は、世界の先住民族の置かれているあらゆる状況に注視し、国際的支援のもとに改善を促すという趣旨から、1995年から毎年8月9日を「国際先住民族の日」と決めました。本事業はこれを記念し、「国際先住民族の日」制定の趣旨はもとより、アイヌ民族の歴史・文化・現状に多くの国民の方々に、正しく理解を深めていただくことを目的としています。

タイムスケジュール (予定)

11:00-11:10	開催挨拶及び趣旨説明
11:10-12:00	第1部 アイヌ民族の文化遺産を巡る教育委員会とアイヌ協会の協働の取り組み 講演①「アイヌ民族と歴史と伝統文化～厚真町厚保幌ダム建設の遺跡発掘調査～」 乾 哲也 氏 (厚真町教育委員会学芸員) 講演②「伊達市における共生社会づくりの経緯と取り組み」 青野 友哉 氏 (伊達市教育委員会生涯学習課文化財係長)
12:00-13:00	昼 休 み
13:00-15:30	第2部 先住民族の権利に関する国連宣言に照らした今後の研究の在り方 講演③「先住民族の人権と自然人類学研究」 篠田 謙一 氏 (日本人類学会会長) 講演④「人類学・考古学の研究者との対話」 ～道アイヌ協会が参画した検証・検討作業より～ 阿部 一司 (公益社団法人北海道アイヌ協会副理事長) 講演⑤「発掘・返還・再埋葬：アイヌ遺骨問題に考古学はどのように関わっていくべきか」 加藤 博文 氏 (北海道大学アイヌ・先住民研究センター教授)



主催 **公益社団法人北海道アイヌ協会**

問い合わせ先 011-221-0462

後援 北海道教育委員会、札幌市
 札幌市教育委員会

道民カレッジ連携講座